

私は学生時代のひと時を札幌で過ごした以外は、生まれも、育ちも、就職(建設コンサルタント)も、ずーっと十勝っ子です。

実家が畑作農業を営んでいることから、幼少時にはトラクタや小麦刈りコンバイン、ダンプトラック等の大型機械を操縦している父の姿がカッコ良く見えました。このため、大人になったら「農業をやりたい」という想いがありましたが、兄が後継者になったことから叶わぬ夢となりました。しかし、学校では農業土木・建設土木を学んでいたことから、入社後は農業土木に係わる業務を担当することが多く、北海道・十勝の農業発展のために微力ながら貢献できることを嬉しく思います。現在では、農業分野・環境分野の調査・解析業務(農業水利施設機能診断・管路通水試験・自然環境調査・自然観察会講師・エネルギー関連業務等)を幅広く担当しています。

先日、当社の入社式で新入社員に向けて歓迎挨拶をする機会がありました。新入社員はとても緊張しているように見えていましたが、眼差しはキラキラと輝いており、ずいぶん昔の自分の新入社員当時を思い出しました。土木・建設コンサルタント業界の将来性が不透明で厳しいなか、この業界で働くことを決めた若者の良き相談相手・良き先輩として手本となれるように、私自身、志を高く持ち、建設コンサルタントのやりがい、楽しさを伝えていきたいと考えています。

技術士資格については、2008年度(農村環境)、2009年度(農業土木)に合格しました。以降も毎年受験していますが、残念な結果が続いていますので今年こそは合格できるように頑張ります！

曾我部 浩二(そがべ こうじ)

●農業部門(農業土木・農村環境)

勤務先

北王コンサルタント株式会社



→次号は、井上誠司さん(建設／農業部門)

私は、札幌のコンサルタント会社に就職し、環境関連部門に配属されて以降、環境影響評価を中心とした業務に従事してきました。

技術士を中心とした諸先輩方のご指導を受けながら、時にはその仕事ぶりを後ろから眺めつつ、付いて行くように業務に携わってきました。今、改めて記憶を辿ると、先輩方に色々な形でお世話になってきたこと、ご迷惑をお掛けしてきたことが、昨日のこのように思い出されます。

ところで、色々な分野で毎年のように新たな課題が発生しているのだと思いますが、環境影響評価の分野においても、年々、新たな課題が現れて来ているように感じています。事業の計画段階も評価の対象とする計画アセスメントの考え方や風力発電事業の環境影響評価の導入は、比較的記憶に新しいところであり、現在も通り一遍ではない難しい対応が求められているところではないでしょうか。

ただ、難しい対応が求められる新たな課題は過去にも生じていた筈で、それを先輩方がなんとか対応してきて今の道があるのだと思うのです。つまり、私からすれば、以前後ろから見ていた先輩方の奮闘ぶりに、新たな課題をクリアするためのアプローチや考え方のお手本があると思うのです。

諸先輩方の仕事ぶりは凄まじささえ感じられるものもあり、自分がその方々と比肩し得るとはなかなか考え難いのですが、先輩の後をついて行くだけではなく、諸先輩の背中をお手本としながら、自らも技術士らしく、業務に携わっていきたいと考えています。

畠山 拓也(はたけやま たくや)

●建設部門(建設環境)

勤務先

株式会社 セ・プラン



→次号は、佐藤圭一さん(建設／環境／総監部門)